

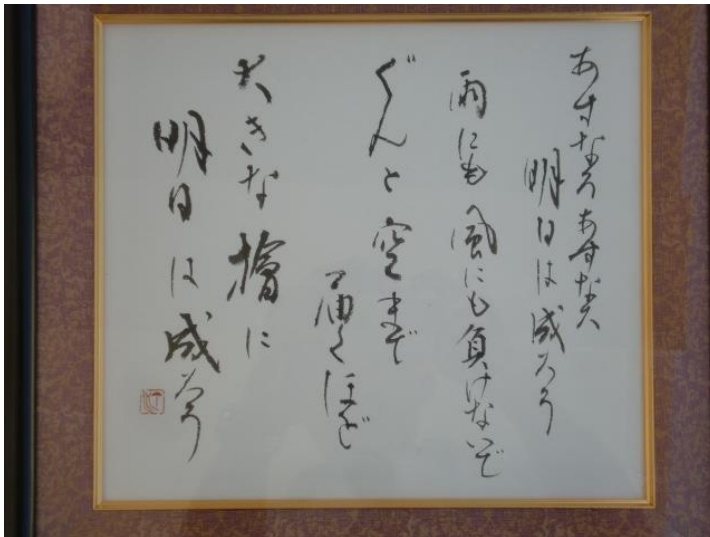
Håfa Adai

グアム日本人学校（全日制）学校日より

平成27（2015）年5月28日

校長 福澤 諭

『夢があり 羽ばたく子』



あすなろ あすなろ
明日は成ろう
雨にも 風にも 負けないで
ぐんと空まで
届くほど
大きな檜に
明日は成ろう

上の書は、事務のフィドラーさんのお母様、藤森蓉子様より寄贈いただいたものです。この書を書いてくださったのは、藤森様の従姉にあたる書家の荻原玉汀さんです。荻原玉汀さんは、書道界で最も荣誉ある賞である「サンスター国際賞」をかな部門で受賞されています。

あすなろ（翌檜）は檜（ひのき）によく似た木です。あすなろは檜にあこがれ、いつか自分も立派な檜になれることを夢見ています。

詩は、読み手によって解釈の仕方は様々です。夢見るだけの悲しい詩と捉える人もいるかもしれませんが、あすなろを自分に、檜を夢と置き換えると、夢に向かう輝かしい子ども達の明るい未来を感じられます。まさに、本校の開校以来の校訓『夢があり 羽ばたく子』です。そんな思いを込めて、書いてくださったのではないのでしょうか。

図書室に飾ってありますので、来校の際にご覧ください。

5月17日（日）、グアム日本人会名誉会員となられた、元阪神タイガースの桧山進次郎氏の講演会が行われました。桧山氏は、『夢』に対し、「〇〇になりたい。（野球選手になりたい。）と言うような希望や願望ではなく、〇〇になる。（野球選手になる。）と断言することが大事。そして、そのことを書いたり話したりすることで、何をすべきか。何をしなくてはならないかが分かり、努力することができる。」とおっしゃっていました。

私たちは、様々な教育活動を通して夢に向かって大きく羽ばたく子ども達の成長を支えています。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。